

教科	工業	科目	繊維製品	単位数	2単位
学科	繊維デザイン科	学年	2学年		
学習目標	繊維及び繊維製品に関する基礎・基本的な知識と技術を習得し、実際に現場などで活用できる能力や応用力、態度を養う。				
学習内容	学習項目		評価規準【評価の観点】		
	第2章 糸 1節 糸の種類 2節 糸の構造 1 糸の太さ 恒重式番手法 恒長式番手法 2 糸のより 糸のより合わせ 正量番手と見かけ番手 3節 糸の性能と用途 4節 糸の試験法  第3章 布 1節 布 1 布の定義 2 布の種類 2節 織物の組織と構造 1 織物組織 織物製造の原理 タペット式力織機の構造 2 織物の原組織 平織 斜文織（あや織） 朱子織 3 織物の変化組織 4 織物の特別組織		<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な糸の種類を理解している。 【A・D】</li> <li>・各種の糸の分類方法を理解している。 【A・D】</li> <li>・紡績糸等の短繊維に用いられる恒重式番手法とフィラメント糸に用いられる恒長式番手法のそれぞれの番手算出法について理解している。 【C・D】</li> <li>・より数とより方向などよりについて学習し、番手表示から見かけ番手を理解している。 【D】</li> <li>・布の種類について理解している。 【D】</li> <li>・各種の布の分類方法を理解している。 【B・D】</li> <li>・織物構造の原理をタペット式力織機により学習し、主運動・副運動について理解している。 【B・D】</li> <li>・地経糸、緯糸、パイル糸の関係について理解している。【B・D】</li> <li>・三原組織（平織・斜文織・朱子織）のそれぞれの組織の特徴、組織図、用途、色系効果図等について理解している。【C・D】</li> <li>・ななこ織、曲がり斜文織、はちす織等の特別組織について理解している。【D】</li> </ul>		
評価の観点	【A】 関心・意欲・態度   【B】 思考・判断・表現   【C】 技能   【D】 知識・理解				
評価方法	定期考査、小テスト、出席状況、課題、授業態度・意欲による総合評価				
教科書等	新版テキスタイル製品（実教出版）				
備考	この科目は1～2学年で学習する。				

※評価規準は、学習の到達目標でもあります。